

○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×
あ		一~	1~	おく(抽象物を)	置く	彼	かれ	子ども	子供、こども			○	×
相いれない	相容(入)れない	※一日あたり、一歯科医として		※信頼を~,支店を~		辛うじて	かろうじて	この	此の			す	
相変わらず	あいかわらず	いちいち	一々	~(して)おく	~(して)置く	cal	カロリー	このうえない	この上ない				
愛嬌	愛きょう、愛敬	一概に	いちがいに	※複合語は漢字「据え置く」		かわいい	可愛い	好んで	このんで			隨分	ずいぶん
挨拶	あいさつ	著しい	いちじるしい	おける	於ける	かわいそう	可愛想、可哀相	代わる代わる	かわるがわる	ご飯	御飯、ごはん	~(度が)すぎる	~(度が)過ぎる
間	あいだ	一段と	いちだんと	行う	おこなう	おしなべて	押し並べて	癌	がん	こまごま	細々	※おいたがすぎる、~しすぎる	(時が)過ぎる (時が)すぎる
相次ぐ(いで)	相繼ぐ、あいつぐ	いち早く	逸早く	おそらく	恐らく	(~する)おそれ	畏れ、恐れ、虞	鑑みる	かんがみる	~込む	~こむ	※5年が過ぎる、過ぎ去りし	
あいにく	生憎	一番	いちばん	いつ	何時	※~へのそれがある		関して(関する)	かんして	これ	之、是、此れ	すぐう(液体を)	掬う
曖昧	あいまい	I級 II級	1級、2級	恐れ	おそれ、畏れ、虞	※恐れを抱く、恐れ入る、恐れ多い		元来	がんらい	頃	ころ、ごろ	少なくとも	すくなくとも
あいまって	相俟って			追って(副)	おって					根(歯の)一歯根	※根面、根分岐部は可	すぐに	直ぐに
あえて	敢えて	一気に	いつきに	オトガイ	頤、おとかい					今後	こんご	すぐむ	嫌む
煽る	あおる	一拳に	いつきよに	大人	おとな					今度	こんど	優れて、優れる	すぐれて、勝れて
上がる	あ(揚、擎)がる	一向に	いつこうに	おとなしい	大人しい					コンピュータ	コンピューター	すごい	凄い
あがる(敬語)	上がる	一切	いつさい	おのの	各々、各					混迷	昏迷	少し	すこし
※おあがりになる		一緒に	いつしょに	おののから	自ら							すこぶる	頗る
あくまで	飽くまで	一齊に	いつせいに	おのれ	己							ざさん	杜撰
揚げ句	挙げ句、あげく	一層(副)	いつそう	おぼつかない	覚束ない							勧める	奨める
上(挙、揚)げる	あげる	※名詞は別「1層の上皮細胞」		面白い	おもしろい							※人・物の採用を促す→「薦める」	
※例をあげる、表にあげるは例外		いったい	一体	主に	おもに							ずっと	宛
あげる(敬語)	上げる	いつたん	一旦	おもむろに	徐に							すてき	素敵、素敵、素的、素適
※ご飯をあげる		一時に	いつときには	およそ	凡そ							すでに	既に
あずかる(関係)	与る	いつぱい(副)	一杯	および(接続詞)	及び							すなわち	即ち(則)
あたかも	恰も	※名詞は別「一杯のかけそば」		及ぶ	およぶ							すばらしい	素晴らしい
(には)あたらない	(には)当たらない	一般(に)	いつぱんに	※重度に及ぶ、~には及ばない								すべて	全て(総、凡)
※驚くにはあたらない		一遍(に)	いつべん(に)	折	おり、折り							~済み	~すみ
~あたり(って)	~当たり(って)	否	いな	※~への折、折から、折しも、折々								※記入済み、それは済みだ	
※企画にあたり、開会にあたり		今(名)	いま	おる	居る							すみやかに	速やかに
○○あたり	○○当たり	※今の時代、過去の治療の今		~(は)おろか	~(は)疎か							すむ	済む
※一人あたり、一軒あたり		今(副、接)	いま	※象牙質はおろか歯髄にまで								擦り合わせる	すり合わせる
辺り	あたり	※今~、今現在、~となった今		おろそか	疎か							減る、擦れ違う、擦りむく、床擦れ	
※この辺り、その辺り		いまさら	今さら、今更	終わり	おわり	※中見出し「おわりに」は仮名						すり替える	擦り替える
当たり前	あたりまえ	まだ	未だ									※すり切り、ごますり、手すり	
当たる	あたる	海外移住者	←移民(禁)									すれすれ	擦れ擦れ
※スポットが当たる、当たり外れ		いや(いいえ)	否										
あたる	当たる	嫌な、嫌だ(形動)	いや										
※(フグ、物事、任、万死)にあたる		嫌々	いやいや										
宛	あて												
※宛先、○○宛													
あてもなく	当(宛)てもなく												
後	あと												
※その後、~した後													
あながち	強ち												
余すところなく	あますところなく												
あまた	数多												
あまねく	遍く、普く												
あまり(副、形動)	余り												
※余剰の意は漢字													
洗いざらい	あらいざらい												
あらかじめ	予め												
あらかた	粗方												
新たに	あらたに												
改めて	あらためて												
あらゆる	凡ゆる												
表す(現)	あらわす												
ありあり	有り有り												
ありがたい	有り難い												
※珍しいの意は漢字													
ありがとう	有り難う												
有り様	ありさま												
ある	或る(在、有)												
あるいは	或は												
併せて(副、接)	あわせて												
案外	あんがい												
暗に	あんに												
い													
いい	良い												
言い換えれば	いいかえれば												
言う(発言する)	いう												
~いと	~言う												
※~へという場合、そういう													
言うまでもなく	いうまでもなく												
いえども	言えども(雖も)												
いかが	如何												
いかに	如何に												
活かす	生かす、いかす												
※命に関する場合は「生かす」													
いかん	如何												
いきおい(副)	勢い												
※名詞は漢字													
~(て)いく	~(て)行く												
※動詞連用形につく場合													
行く	いく(ゆく)												
いくばく	幾何												

